

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鵜の島地区自治会連合会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	52,461円	助成金充当額	20,000円	
事業対象者	地域住民	参加人数	186人	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会長と自主防災合同研修実施：8/10 32人</li><li>・単位自治会、自治会婦人部が防災研修実施：5回 延べ33人</li><li>・防災機器点検(分団輪番制)：9回 延べ86人</li><li>・通学合宿で防災訓練(起震車、AED、炊飯体験、水消火器)：6/26 35人 児童、一般地区民参加</li></ul>			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・各分団防災委員による防災訓練、研修</li><li>・輪番制による分団別防災機器点検(毎月1回⇒コロナのため3回自粛)</li><li>・児童、一般地区民による防災訓練</li><li>・コロナ禍の中、小規模(各分団防災委員、地区民)での研修</li></ul>			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	参加人数(延べ)	300人	186人	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍の為、一斉防災訓練が難しい。日赤による研修もできなかった。</li><li>・子ども達の体験学習を見て、地区民も参加しやすかった。</li></ul>			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・通学合宿でビニール袋を使った炊飯体験を通して防災に興味を持てた。</li><li>・地区民も防災訓練に参加して、今後の体験学習に期待をさせることができた。</li></ul>			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・自主防災委員と自治会長が役割を兼務しないようにする。</li><li>・コロナ禍での地域防災体制づくりの取組み強化を図る。</li></ul>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鶴の島地区コミュニティ推進協議会

事業名	2	健康づくり推進事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	40,425円	助成金充当額	10,000円	
事業対象者	全校区民	参加人数	367人	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・虫歯予防：通学合宿で歯科講座（コロナのため別企画に移行）⇒鶴のリビックへ</li><li>・保健師による健康相談：6/22、7/27、9/28、11/30、1/25、3/24（延べ37名）</li><li>・体力の増進：体育祭中止、秋まつりロコモ度チェック・トレーニング指導91人（11/14）、ポッチャ体験会（2/27）⇒コロナで中止</li><li>・うのしま元気ラジオ体操：毎月第2・4水曜実施（合計8回132名）</li><li>・NHKみんなでラジオ体操：40人（10/24）</li><li>・通学路家族で点検鶴オークラリー：67人(10/3)</li></ul>			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康維持方法等について指導を行う。</li><li>・外出自粛中で家におられる地域の方が短時間でも元気に体を動かす。</li><li>・児童通学路を家族でウォーキングしながら危険箇所等の点検をする。</li></ul>			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	参加人数(延べ)	400人	367人	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ソーシャルディスタンスを保ちながら体を動かし健康な体を維持。</li><li>・コロナ禍での注意事項の周知、ゲームや、頭の体操で気分転換ができた。</li><li>・三世代で協力してゲームを楽しむ。</li></ul>			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康相談は、メンバーが固定し始めたので、趣向を変えたい。</li><li>・コロナの状況にあった行事を練っていく。</li></ul>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)  
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 鶴の島地区コミュニティ推進協議会

事業名	3	小中学校との連携事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	91,049円	助成金充当額	80,000円	
事業対象者	小中学生、地域住民	参加人数	4,599人	
事業内容	・ コミスクラブ：128人+11人(指導者)×11回 ・ 交通安全指導：4/27自転車教室 3年30人、4年22人、指導者5人 ・ あいさつ運動：134回延べ918人、交通立哨(交通分会)：204回延べ204人、交通立哨(ふれあい)：121回延べ833人、パトロール：(12回延べ145人)、遠足交通整理：3人(11/5)、持久走大会交通整理：3人(12/1)、小学校交通委員交代式：50人(3/2) ・ ふれあい農園：小学校児童との作業・植付2回・収穫2回延べ74人、スタッフ31人 ・ 小学校花いっぱい運動：7人(6/25)、12/3(花の成長不良の為中止)・ひょうたん植付(秋まつり作品用)・ひょうたん絵付け指導(4年生22人) ・ 一斉下校：年6回延べ753人・小中学校運営協議会：年間各4回(内1回合同)			
事業目標	・ 小学生とのイベントを通して交流を深め、地区全体の活性化を図る ・ 子どもの安心安全見守り ・ コミスク活動(放課後活動)			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	実施回数	300回	502回	
事業効果	・ 小学校とのイベント実施…植付から収穫まで(じゃが芋、さつまいも) ・ 自転車の安全な乗り方の指導 ・ コミュニティスクールの活用			
事業効果	・ 小学生と地区行事写真の展示・DVD上映をすることで、地区活動への興味を持たせ参加意欲が増した ・ 農園で作物を育てる体験をすることで、食べ物の成長を知り、無駄にできないことを学べた ・ あいさつ運動・交通立哨で地域と子どもが顔見知りになることで、見守りの充実に繋がる ・ 三世代で花の育て方を学び、美しい地域にできる ・ 地域と学校との連帯感が更に強くなり、地区行事の充実が図れた			
今後の課題等	今後も継続して、安心安全で活発な地域づくりを目指していく			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鵜の島地区社会福祉協議会

事業名	4	敬老事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	764,623円	助成金充当額	400,000円	
事業対象者	地区高齢者	参加人数	1,869人	
事業内容	・敬老会…中止したが、記念品を贈呈756人(9/11)米寿記念品35人含む ・いきいきサロン…さちの会24回240人、喫茶都24回360人 ・独居老人宅に見守り訪問、弁当配食 3/18-165人 ・高齢者宅交通安全訪問…11/10～12/29実施 40件 48人 (婦人部、交通分会、新川交番所)			
事業目標	・敬老事業 ・いきいきサロン活動の継続 ・独居老人宅に見守り訪問、弁当配食 ・高齢者宅交通安全訪問			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	参加人数(延べ)	1,000人	1,869人	
	・新しいサロンが4月から発足。			
事業効果	・サロンが情報交換の場となり、地域で見守り・声掛けに繋がり、地域で孤立防止に繋がった ・色々な形での訪問や参加が、世話人や対象者の意識向上になった ・生きがい及び仲間づくりの手助けができる ・コロナ対策をしながら、集まってコミュニケーションをとれた ・敬老会はできなかったが、長寿のお祝いで品物とメッセージを贈った			
今後の課題等	・一堂に会しての敬老会開催が難しくなったので、方法を検討していく			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鵜の島地区コミュニティ推進協議会

事業名	5	地域の活性化事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	350,595円		助成金充当額	124,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	899人
事業内容	・各種スポーツ大会：フタバボール大会50人(6/27) ソフトボール大会29人(7/18)ソフトバレーボール大会40人(12/19)・JAL紙ヒコーキに夢を乗せて&全集中!!鬼もコロナもぶっ飛ばせ！：2/19(コロナ禍で中止) ・三世代交流グラ鵜ンドゴルフ大会：75人 (11/28) ・三世代交流ふれあい清掃作業：79人 (12/4) ・作ってみよう緑のカーテン研修：18人(6/22) ・空き缶等回収：年2回 238人・三世代交流ふれあい農園：24回作業110人・熱闘 鵜のリンピック (三世代)：115人(10/16)・福祉バザー：秋まつりで出店 約100人 (11/14) ・ミニ門松づくり：45人 (12/27)			
事業目標	・地区公園の清掃(三世代)、中学生ボランティアも参加 ・三密を回避した新たな企画で、地域活動の若返り・活性化を図る			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	参加人数(延べ)	1,000人	899人	
	・新型コロナウイルスの為中止：読み聞かせ、子ども料理教室、紙ヒコーキ ・10月から中学生ボランティアが参加、行事が活性化			
事業効果	・自ら育て食することで、食べ物を大切にできる ・新たな地域づくりの人材の発掘 ・児童達中心の行事を開催し、参加率が向上した ・中学校の地域応援隊の協力で、地域帰りへの足掛かりができた			
今後の課題等	・地域の大人たちが有する経験をコロナ禍を考えながら、次世代に伝える方法を探る			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか (コロナ縮小)	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鵜の島地区自治会連合会

事業名	6	広報事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	234,028円	助成金充当額	50,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	約800人	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・鵜の島だよりの発行(毎月1回)：12回発行 ・行事報告写真：9回</li><li>・自治会班回覧の発行：地域行事案内他</li></ul> (小学校だより12回、中学校だより12回、交番だより12回、行事参加要請39回) <ul style="list-style-type: none"><li>・福祉委員だより：12回発行</li><li>・環衛連便り(不定期)：4回発行</li><li>・行事ごとの動画の上映：11本 ・リモート会議、研修、セミナー：10回</li></ul>			
事業目標	・地区内の情報発信 (新聞社、市HP掲載)			
	数値目標	令和3年度目標	令和3年度実績	
	発行回数	12回	22回	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・文字フォントを大きくして読みやすくなった</li><li>・写真を多くし、行事内容を分かりやすくした</li><li>・各種だよりの編集方法の見直し、情報をわかりやすくした</li></ul>			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・行事の写真をボード設置、刎付ボードで、お知らせ掲示してPRした。</li><li>・イベントのDVDを作成し、ホールで上映したり各会議で披露したことで内容を理解して、参加しやすくなった。</li></ul>			
今後の課題等	・動画や通信手段で、地区行事及び諸問題等を広くPRしていきたい			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

事業実施団体 鵜の島地区コミュニティ推進協議会

事業名	7	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
決算額	850,321円	助成金充当額	541,300円	
事業対象者	全地区民	参加人数	1,443人	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・夏まつり慰霊盆踊り大会：597人(8/7)祭は鵜の島公園、慰霊祭はセンター</li><li>・秋まつり(鵜ノ島小学校にて)：675人(11/14)</li><li>・うのしま美術館秋まつり同時開催：28人39点出店(11/14)</li><li>・宇部サンクスデー(レノア山口パブリックビューイング)：80人(一般32人、スタッフ48人)観戦、福祉用具体験、ポッチャゲーム</li><li>・鵜のリンピック：ポッチャゲーム、福祉用具体験 参加63人</li><li>・ポッチャ体験会：2/27(中止)</li></ul>			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・うのしま美術館開催 1回(地域共生社会実行委員会主催)</li><li>・障害者等の地域行事参画の拡充(地域共生社会基盤づくり)</li><li>・地区夏まつりでは、会場の出入り口を制限する為、バリケードを活用(コロナ対策)</li><li>・秋まつりは開催場所を変更したが、バリケードも設置した。(コロナ対策)</li></ul>			
	数値目標	令和2年度目標	令和2年度実績	
	参加人数(延べ)	500人	1,443人	
	・地区夏まつりでは、会場の出入り口を制限する為、バリケードを活用したので当初の予算を上回ってしまった。バザーに金券制を取り入れたが、人数も多すぎたためうまくいかなかった。			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の親睦、連携、協調性が高まった</li><li>・異世代交流に貢献できた</li><li>・独居高齢者他の引きこもり防止(声かけ、企画作り)</li></ul>			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会状況(新型コロナ感染拡大防止)を考慮しながら、安心・安全に努め多くの方に参加していただけるよう、工夫していきたい</li><li>・夏まつりはコロナ対策でバリケードを設置したが、予想外に他地区からの来場が多く密が気になった。(会場のレイアウト等の検討)</li></ul>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか(コロナ縮小)	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3